

## 【活動手当付き投票権と、その他】の請願（案）

既に他国でも日本でも様々な不安や困窮と戦う人々は激増し、年々、抗議行動や犯罪（テロ・戦争他）も連動して増加、また自然災害の多発、深刻さにも対応しきれぬ事態となっています。日本でも、この事態を招いた根源は？元を辿れば政治！とばかりに、政治関連の不正や批判は報道されています。しかし残念ながら【肝心の決定的解決策】は具体的にまだ提示されてません。その為【確実な解決策】に通じる突破口は？と思案した結果、実は問題の根源は国民にも有りました。それは【棄権】や【頼まれ票】に応じて『名ばかりの権利』（投票権の放棄は民主主義の崩壊に繋がる大問題の行為）を選ぶ有権者が多い事です。ただそうさせてる理由には『無知』『無関心』『諦め』『不信感』『恐れ』といった、政治認識や環境事情が多くの有権者にある為、それらを変化させる為の【棄権を減らす事】が、最初に必要となる訳です。その点、本請願の目的【適正な政治になる】は誰もの願いであり、手当請求に関しても本来、各有権者の真剣な投票自体が唯一、重要な政治参加である事は明白です。よって、『選挙活動費の受給も当然』という解釈や理解にも繋がる事から、『投票率アップ』の為の、下記<請願事項>を請願します。

### <請願事項>

1. 『最低 10,000 円以上の活動手当を受給する権利』を有権者の投票権に追加する事を求める。
2. 投じたい政党や候補者がいない有権者でも、その意思を表す手段で白票が有効化される為に白票数は他の無効票と区別して公表し報道する事を求める。
- 3 : 上項 1 は、【投票の義務化】ではなく【投票する権利の強化】を意味するものである。本来、【投票】は唯一、国民の政治参加なので【義務】とすべき所であるが、他にも有る選挙関連の歳出問題も絡み複雑化する為、従来通り【棄権に対する罰則は無し】を求める。

NO	住 所	氏 名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		